

今後の中学校給食の在り方の検討について

1 趣旨

「学校給食法の趣旨を踏まえ、より多くの生徒に中学校給食を提供する」ことを目指し、自校方式、親子方式、センター方式、デリバリー方式など、あらゆる手法について課題の整理や実施スケジュールの検討を行い、令和4年4月21日の常任委員会において検証結果の中間報告をお示しいたしました。

令和4年第4回市会定例会(12月)に予定されている新たな中期計画(原案)の公表に合わせ、今後の中学校給食の在り方を公表できるよう、生徒・保護者に対するアンケート調査、外部の有識者等への意見聴取を行い、更なる検討を進めます。

2 生徒・保護者に対するアンケート調査(案)について

4月からさくらプログラムを全145校で実施し、喫食率が30.1%となるなど、中学校給食の利用が進む中、最新のニーズを把握し、今後の中学校給食の在り方を検討する上での参考とするため、生徒・保護者に対するアンケート調査を実施します。

(1) アンケート対象者

生徒・保護者 約34,800人(合計)

※中学校全校(145校)で実施。各学年(1~3年生)から1クラス抽出

(2) 調査項目(概要)

- ・中学校の昼食の利用状況
- ・さくらプログラムの取組状況(給食の印象、受渡しの状況など)
- ・現在のデリバリー型給食の評価や改善点、食育の取組状況など
- ・今後の中学校給食を検討するうえで大切に思うこと 等

※今後、外部有識者のご意見等を踏まえ、最終的な調査項目を確定します。

(3) 実施時期

6月下旬

※生徒は学校に整備されているタブレット端末での実施、保護者はWEBアンケートを基本として、必要に応じてマークシートでの回答も可とします。

3 外部有識者等への意見聴取について

(1) 意見聴取する事項(案)

ア 現在のデリバリー型給食の現状について

- ・令和3年度の横浜市の中学校給食の振り返り、利用促進に向けた取組 など

イ 今後の中学校給食の在り方について

- ・生徒、保護者へのアンケート調査の調査項目及び調査結果
- ・実施方式の検証結果(中間報告)に関するご意見
- ・本市における目指すべき中学校給食の姿 など

裏面あり

(2) 実施方法について

令和4年第4回市会定例会（12月）に予定されている新たな中期計画（原案）の公表に合わせて今後の中学校給食の在り方を公表するために、外部有識者等から速やか且つ丁寧にご意見を伺えるよう、個別ヒアリングを行います。頂いたご意見を教育委員会で取りまとめ、別途、常任委員会でご報告いたします。

(外部有識者等を行う意見聴取の主な視点（案）)

視点	専門等
身体づくり、栄養バランスに関すること	教育学（養護教育・学校保健）、栄養学 等
食育に関すること	地産地消、食の専門家、学校関係者 等
アンケート調査に関すること	マーケティング・統計学 等
施設整備に関すること	建築学 等
地域経済への影響に関すること	地域経済政策 等
長期的な財政負担に関すること	公認会計士 等
保護者からの意見に関すること	保護者代表
学校現場への影響等に関すること	学校関係者

4 今後のスケジュール（案）について

6月～	外部有識者等への意見聴取 生徒・保護者へのアンケート調査実施 ※検討状況等を臨時の常任委員会で報告
9月～	常任委員会報告（新たな中期計画素案の中で <u>方向性を公表</u> ） （新たな中期計画素案へのパブリックコメント）
12月	常任委員会報告 （新たな中期計画原案とあわせて、 <u>今後の中学校給食の在り方を公表</u> ）